

大分国体の巻

9月29日(月) 朝7時半テニスコートに集合。その後旭川にてオール等の詰め込みをした。雨の中の出発であったが、3年保護者に混じり1年保護者が3名と19OB保護者が2名(岸本母は1年保護者とさせていただきます)が集まった。黙々と作業を続ける部員とそれをひたすら見つめる母たち。1年とOBの保護者は精一杯の気持ちを届けに来ていた。私も皆が笑って凱旋できることを祈って『勝栗』ならぬ『笑い栗』を持参した。甘栗なのだが鬼皮が割れて栗が笑っているように見えるので、こうネーミングされている。

挨拶の後、次々と鬼火弾号に乗り込んだ子供達に保護者から声が掛かる。安井母は自分の顎を人差し指で抑えながら息子に目で話し掛けていた。「顎を上げるな!!」というメッセージだと分かった。千葉母は栗を拾いに行ってきたと大粒の栗をお裾分けしてくれた。まさに心のこもった『勝栗』。有り難く頂く、3日に栗ご飯にして食べ、翌日熊本へ出発することにした。

10月2日、国体クルーの保護者は夜、先発隊が岡山を出発。仕事などの都合により時間がずれながらも次々と出発していった。

10月3日、予選開始。

10時56分 少年男子シングルスカルC組

1. 岩手県 岩手選抜 畠山・・・1着 3'50"01
2. 岡山県 岡山選抜 高橋・・・3着 3'59"36
3. 宮崎県 宮崎商業高校 堀川
4. 静岡県 静岡選抜 栗山・・・2着 3'55"57
5. 東京都 早稲田高等学院 佐藤
3着まで準決勝進出、なんとかクリア。

11時36分 少年男子クォドルプルD組

1. 岩手県 岩手選抜
2. 熊本県 熊本選抜
3. 静岡県 静岡選抜・・・2着 3'19"97
4. 岡山県 岡山選抜・・・1着 3'16"42
(C 廣田S 千葉2 三亦3 安井B 藤原)
5. 茨城県 潮来高校・・・3着 3'20"78
3着まで準決勝進出 余裕でクリア。

12時40分 成年男子ダブルI組

1. 宮崎県 宮崎選抜・・・5着
2. 岡山県 岡山選抜・・・・・・・・・・3着 3'16"38
(S若山B三村)
3. 宮城県 アイリスオーヤマ・・・1着 3'10"65
4. 静岡県 静岡選抜・・・2着
5. 神奈川県 神奈川選抜・・・4着

成年は1着のみ準決勝進出、敗者復活戦へ

他の組の1着とタイム上は遜色なかった。アイリスオーヤマが異常に速かったのだ。このまま、優勝へと突き進んでいった。

16時34分 少年男子ダブルスカルC組

1. 北海道 北海道選抜
2. 千葉県 千葉選抜・・・1着 3'22"48
3. 大分県 大分選抜・・・3着 3'22"86
4. 岡山県 岡山選抜・・・2着 3'22"82
(S高木B林田)
5. 福島県 田村高校

3着まで準決勝進出、クリア。

このタイムは！！と驚いた方も多いはず。コンマ差がズラッと並んだレース結果をはじめて見た。500Mまで1艇身差でトップ、しかし後半、千葉・大分のスパートに激戦となり体が固まってしまい、コンマ差で1着を逃す。

10月4日(土)、観光！！菊池溪谷へ！菊池市から15キロほど山に分け入ったところにマインスイオンを満喫できる溪谷がある。水は平たく削られた岩肌の上に飛沫を上げながら流れ深さを綺麗な緑色で表わしていた。歳を重ねた巨木に蔦のように色々な植物が絡まり足元の岩と共に苔に覆われている。橋の上から滝へ落ちていく川を望むと、昨日までの雨で水量が増し、眩しい日差しに虹が浮かび上がっていた。5,6月には良く見られる景色でもこの時期にはめったに見ることが出来ないと駐車場のおじさんが話してくれた。森川先生と子供達は、神々しい虹に手を合わせた。必勝を祈願して。山女の塩焼きを頬張って次の阿蘇山・草千里へ。草千里では、森川先生がお馬さんからのプレゼント『運』を貰った。

私はこの日の朝、熊本をめざし新幹線に乗り込んだ。若山・三村ペアの試合は大丈夫だろうと安心して熊本観光を楽しんでしまった。

携帯がなった。岸本母からのメールだ。若山・三村の敗退を知る。何で？何で？何で？

成年ダブルスカル敗者復活戦I組

- 1着 山梨県 北陸RC・・・3'31"74

2着 岡山県 岡山選抜・・・3'33"68

3着 埼玉県 埼玉県警・・・3'42"47

1上がりのため敗退してしまった。若山・三村を持ってしても勝ち上がっていけないとは・・・成年、恐るべし！

菊池温泉のホテルに着く。どう見ても、ラブホを改装したビジネスホテルだ。寝られればOK。これでも電話をかけまくってやっと取れたホテルだ。贅沢は言うまい。

温泉は付いていないので、フロントのお薦め『湯元温泉』に300円で入れてもらった。宿のおばちゃんに「今、いいですか？」と聞くと「見てきます」と奥に入っていく、「どうぞ」と入れてもらった。ここにも、国体選手がひしめき合っているのだから空いていないと駄目らしい。誰も居ない風呂にこっそりと浸かり、さっさと引き上げた。

夕飯はどうしよう・・・？ 馬刺しに決まっているジャン！フロントのお薦め『うどう』に行く。6人がけのカウンターと2つの小さなテーブルが置かれた座敷、こじんまりとした店内。テーブルの1つは『予約席』のプレートがあって、残りは満席で半分諦めたが、カウンターに座っていた地元のおじさんが「どうぞ」と言って空けてくれた。暖簾の奥の調理場で飲むらしい。念願の馬刺しと辛子蓮根を食べる。左隣の地元JAに勤めていると言うおじさんから熊本について色々聞いた。右隣はFUKUIのTシャツ・・・キヤーッ！ママさんと話していると『予約席』のお客の正体が分かった。棚にはキープしてある焼酎に白のマジックで見慣れた文字が・・・。「9時半からです。」とな！！こりゃいかん！と、アホな遠慮をして9時過ぎに引き上げた。

缶コーヒーを飲みながら熊本ってチャンネルめちやくちや少ないな。とニュースをボーッと見てみると、携帯が鳴った。10時半。『予約席』のお客から「何しとんですか？出てきませんか？」とお誘いが掛かる。他のメンバーを聞き、保護者と分かったので出かけることにした。森川先生のオーダーは裏メニューばかりの様で、『ちくわ』と呼ばれる血管や納豆・オクラ・馬肉と一緒に混ぜて食べる『さくら納豆』など珍しいものをいっぱい教わった。胃袋に余裕がなくてあれこれ食べられないでいると「抜け駆けして一人で来るから！声かけんのんが悪い！」とイジメられた。アホな遠慮はしてはいけないと反省。12時半まで飲んでしまった。長浜コーチも同席されていた。1週間の休みを取って、子供達の面倒を見てくれている有り難い人です。毎年休みを取るのは大変なのではと千葉父が聞くと

「土日の休みと有給をかき集めてます。」土曜の休みもかき集めているらしく、大変な思いをして来ているのだと今更ながら頭が下がる思いです。森川先生同様、よく気が回る方らしく無口だが子供達からも尊敬されていると感じた。

10月5日(日)、準決勝。シャトルバスで斑蛇口湖へ。一般観客席ではなく対岸に関西応援団が陣取っていた。歩いて橋を渡ってみようと思っていた。話で聞いていた橋の上からボートを見てみたかった。リギング場が見えた。関西クルーも見えた。でも、ここを抜け

ないと橋まで行けない。側に寄りたくなくても、どうしても会ってしまう。会えばお互い挨拶しない訳にはいかない。なるべく下を向いて歩いた。前を余り見ていないから気付くのが遅れて、えっ？と顔を上げたら関西母の集団がこっちに向かってやって来た。母だけは今日の試合を一般観客席で観る事になっていた。対岸からではスタートもゴールも見えないのだ。声が子供達によく聞こえるので先生から対岸でと言われたが、ゴールが観たい親心母たちだけでもと了解を得ていた。勿論カメラ・ビデオ担当者は良く見える本部の屋上などに配備していたのだが、全員だと20人近くになる。観客席を占領するのはひんしゅくだろうと森川先生の配慮が感じられる。

それではと、私も観客席で観る事にした。岡山少年女子の応援団に遭遇する。予選1着突破していたが、準決勝3着で敗退してしまった。力尽きるまで漕ぎきり、泣きながら栈橋にたどり着くと全員救護所へ運ばれたと言う。関西と一緒に決勝まで残りたいと練習してきた彼女達の母は目を真っ赤にして泣いていた。関西の応援をしにやって来た女の子達の挨拶も聞いた。まだ涙が止まらなくて泣きじゃくりながら関西保護者にお礼の言葉を伝えていた。

10時40分 クォドルプル準決勝C組

2. 茨城県 茨城選抜・・・3着 3'09"23
3. 山梨県 山梨選抜・・・2着 3'08"24
4. 岡山県 岡山選抜・・・1着 3'04"75
5. 愛媛県 愛媛選抜・・・4着 3'11"71

素晴らしいタイムで堂々の決勝進出

11時12分 シングルスカル準決勝C組

2. 岡山県 岡山選抜・・・・・・3着 3'37"39
3. 青森県 むつ工業高校・・・1着 3'35"17
4. 大分県 大分選抜・・・・・・4着 3'40"81
6. 北海道 函館水産高校・・・2着 3'37"06

500Mまでトップ迫ってくる青森・北海道と気迫の戦いをするもさされてしまった。コンマ差で順位決定に進めず。ただ、彼は逃げなかった。諦めなかった。最後まで漕ぎきった。

高橋君のレースに於いて、どうしても外せない人がいる。谷君だ。インハイ前から高橋君と苦楽を共に頑張ってきた。国体前に森川先生からプレゼントを貰う。彼にとって最高の勲章ではないだろうか。毎年選抜クルーに渡される鉢巻、今年は桜色に敢為と書かれている。坊主頭にしっかりと巻かれた鉢巻姿をリギング場で見かけた。

11時44分 ダブルスカル準決勝D組

2. 茨城県 潮来高校・・・3着 3'22"97
3. 岡山県 岡山選抜・・・1着 3'18"37
4. 大分県 大分選抜・・・4着 4'34"02
6. 福島県 田村高校・・・2着 3'20"09

着実に決勝進出を決める。大分は序盤どんなトラブルがあったのだろうか。500M地点で3艇しか見えなくて探してしまった。それでも最後まで漕ぎぬいた。見ていて一番辛く感じる。

午前中で試合がすんだので、引き上げる事にした。雨は降ったりやんだりしていたが、小休止してくれるらしい。母たちは対岸の応援席の片付けをしに戻って行った。シャトルバスの停留所についた頃、高橋母から電話が入る。お昼のお誘いだ。OB保護者が一緒だと気を使わせるからと一旦遠慮したが、熱心に誘ってくれるのでお邪魔する事にした。

森川先生お薦めの『いかぐり茶屋』に行く。もう既に満席。ひしめき合って食事しているのはチーム関西。福井のクルーも並んで待っていた。暫く待って、子供達と入れ替わりに食事をとった。栗のたっぷり入ったお赤飯と馬すじの煮込みはとても美味しかった。

この後、菊池溪谷もご一緒させてもらった。駐車場のおじさんが鬼火弾号のことを良く覚えていて、昨日のことを話してくれた。今日は天気が良くないので虹は見られなかったが、心が洗われる様な景観に溜め息が出た。現役保護者18名+1名の集団に静かな溪谷も一時賑やかになっていた。

菊池市の和菓子店で別れホテルへ戻った。夕飯はどこのお店に入ってもボート関係者でいっぱいなのでコンビニですまそうと思っていたら、上谷母から電話がかかってきた。一般駐車場で引き上げる時に会い、ご挨拶はしていたがお食事に誘われるとは思ってもみずビックリした。直ぐに伺いますと、電話を切ると今度は先生から。みんなに気づかしてもらって何て幸せもんなんだろうかと、嬉しいやら申し訳ないやらで思わず手を合わせる。

『花てまり』で上谷ご夫妻と森川先生の奥様と共に炭火焼をいただく。ここには書けない楽しい裏話を色々聞けたし、くだらない話をいっぱい喋った。

10月6日(月)、月曜日は決勝戦。朝食までお誘いいただき、この日は一緒に行動させていただく事になった。上谷父は臨時役員としてお手伝いする事になり、ゴールの審判席へ行かれた。3人で応援団のいる場所へ顔を覗かせた後、一般観覧席で観ることにした。観覧席もいっぱい本部の2階のベランダから観戦した。対岸に関西応援団を臨む。試合時間が近づくとつれ眩しいオレンジが横断幕の後ろに集まっていくのが分かった。黄色いデカメガホンを持つ高橋父の姿も確認できた。

昨日午後、上谷ご夫妻と奥様は龍神様にお参りに行かれ、お守りしているおじいさんに栗を頂いたので子供達に渡して下さっていた。みんな今日の艇に乗せている。

11時48分 ダブルスカル決勝

2. 京都府 京都選抜・・・3着 3'33"82
 3. 新潟県 新潟選抜・・・2着 3'30"84
 4. 愛媛県 愛媛選抜・・・1着 3'30"02
 5. 岡山県 岡山選抜・・・4着 3'36"90
- 国体4位入賞

対岸の応援団の声援が昨日より大きく聞こえた。残るはクォドのみ、嫌が故にも緊張が高まっていった。

12時20分 クォドルプル決勝

2. 福井県 福井選抜・・・去年のリベンジ優勝を狙う
3. 岡山県 岡山選抜・・・有終の美、高校4冠と5連覇がかかっている
4. 宮城県 塩釜高校・・・インハイのリベンジ、関西に勝つため苦しい練習をしてきた
6. 兵庫県 兵庫選抜・・・黄色の立派なバスで来ている

スタート。500M 関西が3分の1艇身出ている。私たちの目の前で福井がスパートをかけた。グングン関西に迫ってくる。負けじと関西もスパートをかけるが、福井にさされる。リードを許したままにはいかない。オールが水をかくたびにトップが入れ替わっている様であった。ゴール！！肉眼では分からなかった。しかし、直ぐに関西クルーの腕が天に伸びた。勝った！！勝った！！勝った！！対岸のオレンジが叫び飛び跳ねて喜ぶのが見える。審判席の上谷父から上谷母へ電話が入り、ゴールの状況が伝えられた。

「一漕ぎ、コンマ差、ピッチの差」

一漕ぎのタイミングが勝利へ導いてくれた。掲示板に

「龍の背中に乗せてもらったように・・・わずかに関西が出た感じ。」

と書かれている。今度は森川先生から奥様に電話が掛かる。今聞いた情報がそのまま先生に伝えられた。

ゴールから棧橋まで戻る途中、一般観客席の前で止まり、

「いちば～～～～ん！！」

と、叫んだ。まるで私たちに向かって、してくれている気がして、更に上乗せされた感動を感じた。

先生にお祝いを伝えに歩き出した。山口選抜の久村選手のお父様に会う。明治の角監督に出会う。桑野造船の古川さんに出会う。

リギング場の側でクルーがインタビューを受けていたので足が止まった。すると、先生が片付けの荷物を持ってこちらへ歩いてくる。「おめでとうございます。」先生のお話を聞

き、握手をして別れた。

熊本まで思い切って来てよかった。皆さんの親切な気遣いと、子供達の世紀の一瞬をこの目で見られて、感動を貰えて。幸福な気持ちで斑蛇口湖を後にした。